

veeam

No.1ハイブリッドクラウド バックアップ・ガイド

混合環境をシームレスに保護するための
究極のガイド



目次

ハイブリッドクラウドとマルチクラウドの現実	3
ハイブリッドクラウドバックアップの課題	4
最新のソリューションを必要とする最新の環境	5
ハイブリッドクラウドの回復性を統合	6
AWSネイティブのバックアップ、復元、DR	7
Azureネイティブのバックアップと復元	8
Googleネイティブのバックアップ、復元、DR	9
クラウドモビリティ	10
Microsoft 365のバックアップと復元	11
Salesforceのバックアップと復元	12
Kubernetesのバックアップ	13
クラウドのバックアップとアーカイブ	14
ディザスタリカバリ (DR)、移行、最新化	15
ランサムウェア対策	16
概要	17

ハイブリッド クラウドとマルチ クラウドの現実

ハイブリッドクラウドとマルチクラウドの実装は今だけのことだけでなく、今後も引き続き注目されるトピックです。お客様の組織は、中小企業 (SMB) かエンタープライズか、パブリックセクターかその中間に位置する組織かにかかわらず、恐らくこの92%、つまりすでにハイブリッドクラウドを導入済みの組織に分類されるでしょう。これには戦略的な選択の結果であったり、ニーズと優先順位の経時的な変化に伴った自然な流れであったりします。

89%

マルチクラウド戦略を導入している組織の割合*

78%

データをクラウド上に6か月以上保持している顧客の割合**

* Flexera, 「State of the Cloud Report (2024)」 (英語版)

** Veeam, 「2023 クラウドプロテクションレポート」

ハイブリッドクラウドは、オンプレミスストレージと、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloudといったパブリッククラウドプロバイダーの単なる組み合わせ以上の力を発揮することができます。これはしばしば、本番、開発/テスト、災害復旧 (DR) など、多様な目的への対応に使用される多様なプラットフォームによるマルチクラウド環境を意味することがあります。なぜなら、パブリッククラウドプラットフォームにより、以下の点について多くのメリットがもたらされるためです。

柔軟性

さまざまなクラウドプロバイダーによる数百ものサービスから選択可能

スピード

必要なときにその場で提供される、ほぼ瞬時のサービスプロビジョニング

弾力性

必要に応じてパフォーマンスとキャパシティを容易にスケールアップまたはスケールダウン可能

費用

大規模なCapExの取引を、より管理しやすい従量課金制のOPEXに変換

回復力

世界各地に拠点があり、最大99.99%の可用性を実現

ハイブリッド クラウドバック アップの課題

パブリッククラウドには無視できない程のメリットがある一方で、特にデータ管理（パブリッククラウドのデータの保護とセキュリティを含む）に関しては、あまり目立たない課題が生じることがよくあります。クラウドプラットフォームやSoftware as a Service (SaaS)、さらにKubernetesといったクラウドネイティブのアプリケーションアーキテクチャの採用が増えている中で、多くの組織がそのデータ保護戦略に頭を悩ませています。レガシーバックアップは最新のアプリケーションではうまく機能せず、クラウド全体に拡張することも、サイバー脅威から効果的に保護することもできません。このような旧式プラットフォームの目標と焦点が、現在は多くのエンタープライズにとってコスト面でのリスクになりつつあります。組織は、進化するデータ保護のニーズに対応し、全てのデータの回復性を確保するために、最新のデータ保護プラットフォームを必要としています。

全てのバックアップが等しく作成されない

異種環境を保護する場合、あらゆる状況に対応できる万能のソリューションは存在しません。物理マシン、仮想マシン (VM)、クラウドホスト型、クラウドネイティブのインフラストラクチャとプラットフォームをバックアップすることで、それぞれの環境にネイティブな専用保護機能によるメリットを得ることができます。最先端のワークロードにレガシーバックアップツールを使用すると、最新化によって得られるメリットが無効になります。

サイロ化された管理は悪夢

ファーストパーティベンダーとサードパーティベンダーの両方が、異種環境にあるそれぞれのコンポーネントに対応するネイティブバックアップツールを提供しています。ただし、これは複数のベンダーによる複数のツールセットの提供を意味し、管理が断片化されて、それぞれの間のギャップが効率の低下とコスト増加につながる場合があります。

ロックインによる不十分な制御

機能が1つだけの（通常はファーストパーティベンダーによる）製品を使用すると、データがそのプラットフォームに「ロックイン」されてしまいます。このロックインによる制御の欠如により、経時的なニーズの変化に組織が対応するうえで必要な柔軟性が阻害されます。これにより、組織の現在のニーズにより適切に対応する新しいプラットフォームを採用できず、パフォーマンス、キャパシティ、コスト面で妥協を迫られる結果となることもしばしばあります。

最新の ソリューションを 必要とする 最新の環境

十分に試行を重ねた真のメリットをもたらすハイブリッドクラウドは、多くの組織の成果を高め、ビジネスの成長を支援するものです。しかし、ハイブリッドクラウドを採用した場合、そのデータ保護、管理、セキュリティ面といった煩わしい作業も抱え込まなくてはならないのでしょうか？こうした課題を解決するのに理想的なソリューションとはどのようなものであるかを見ていきましょう。

広範なネイティブサポート

クラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetesなど、保護が必要なあらゆる環境に向けて専用に構築されたネイティブのバックアップと復元機能を利用できます。

一元管理

全ての環境向けの単一のビューと管理により、管理の断片化と効率の低下、コストの増加につながる複数のツールセットを排除します。

総合的な管理

データを総合的に管理してプラットフォームのロックインを排除し、組織のニーズと要件の変化に応じてデータをあらゆるインフラストラクチャ間で簡単に移動することができます。

モジュール式の柔軟性

多大なオーバーヘッドや面倒なライセンス管理なしで、必要なプラットフォームのコンポーネントのみを使用できます。

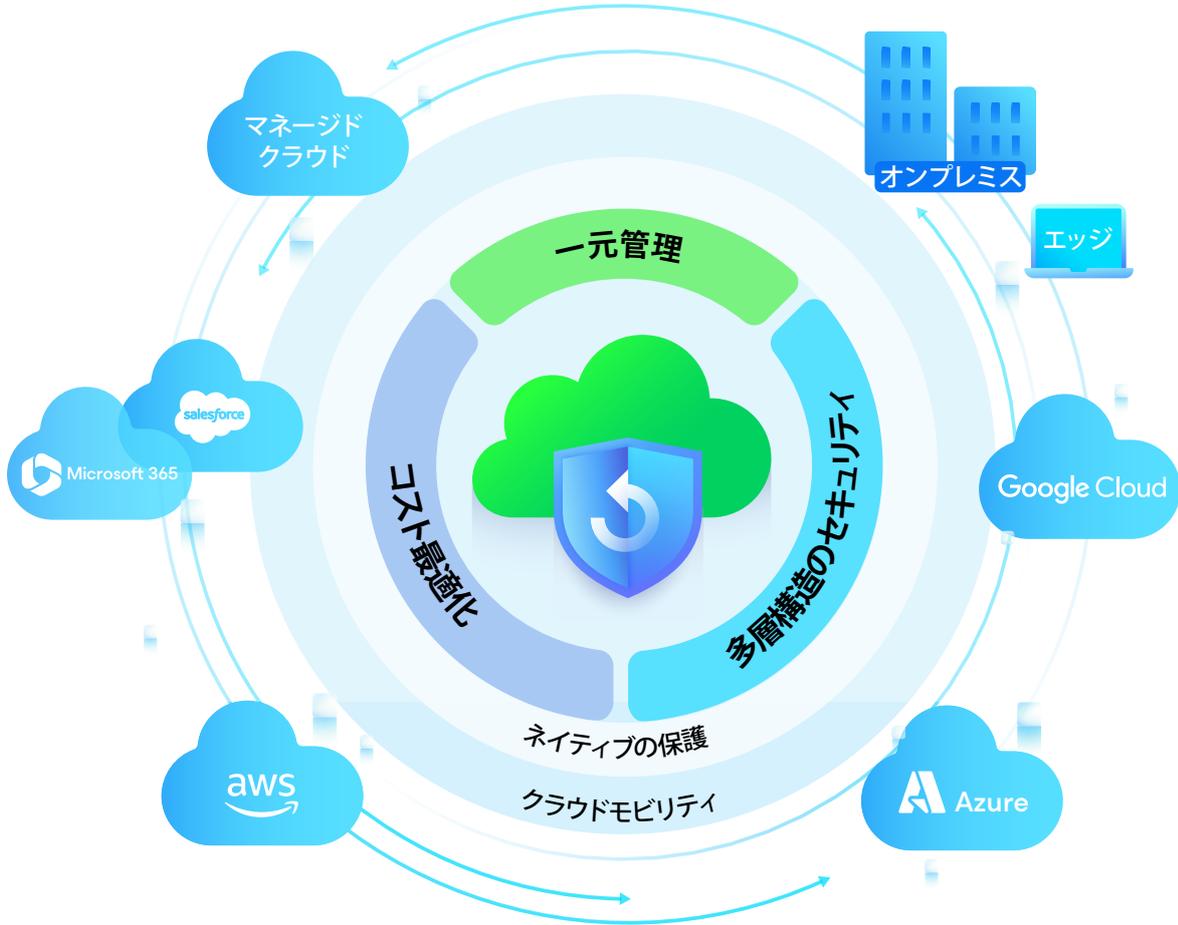
ハイブリッドクラウドの回復性を統合

業界をリードする単一のプラットフォームで混在環境をシームレスに保護します。

Veeam Data Platformは、ハイブリッドクラウドとマルチクラウドを採用している組織向けのNo.1ハイブリッドクラウド・

バックアップソリューションです。1つのプラットフォームで、あらゆるインフラストラクチャ（クラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetes）にわたってデータを保護、管理、制御することができます。

保護対象の環境専用のネイティブバックアップ、集中管理とユニバーサルライセンスのための単一コンソールを備えるVeeamは、企業があらゆるクラウド環境で自社データのオーナーシップを確保できる唯一のソリューションです。



その他のプラットフォーム



AWSネイティブの バックアップ、 復元、DR

AWSでは、アプリケーションを作成して導入できるクラウドプラットフォームを提供しています。ただし、AWSの責任共有モデルで規定されているとおり、プラットフォームを提供しているのはAWSであっても、そこにあるデータの保護と安全はユーザー側の責任になります。Veeamでは、ランサムウェアや人的エラーなどからの信頼性の高い復元のためにAWSネイティブのポリシーベースの保護を提供します。セキュリティとスケーラビリティを考慮して構築されたVeeamのソリューションにより、コストが最適化された復元力の高い保護が提供されるため、ITの戦略的な優先事項に時間とリソースを充てることができます。

クラウドネイティブ

Amazon EC2、EBS、RDS、Aurora、DynamoDB、EFS、FSx、RedShift、VPC専用に設計されたエージェントレスのバックアップとDRを提供します。

ポリシーベースの自動化

完全カスタマイズ型のポリシーでスナップショット、バックアップ、データのライフサイクル管理を自動化します。

Amazon VPCのバックアップ

トラブルシューティング、DR、開発/テストのためにすべてのVPC設定をバックアップおよび復元します。

アプリケーション整合性

実行中のアプリケーションデータを全て取得し、データ消失ゼロのバックアップと復元を実現します。



高速復元

インスタンス全体、ボリューム、データベース、ファイルシステム、個々のファイルを迅速に復元します。

バックアップコストの計算ツール

業界初のバックアップコスト計算ツールでコストを予測し、不測の料金を回避できます。

Amazon S3へのバックアップ

Amazon S3への自動データバックアップで、コストのかかるスナップショットの保持を回避します。

S3 Glacierへのアーカイブ

Amazon S3 GlacierやS3 Glacier Deep Archiveにデータを維持し、保持やコンプライアンスの要件に対応します。

アカウント間、リージョン間のバックアップ

本番環境からバックアップを分離して、ランサムウェアやサイバー脅威から保護します。

イミュータブル、暗号化

AWS KMSとWORM状態で、バックアップデータを社内外の脅威から保護します。

管理の一元化

AWSバックアップを、他のクラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetesなどの環境とともに単一のプラットフォームで一元管理します。

データポータビリティ

サポートされた環境間でのデータ移動も簡単なので、DRやリフト&シフト、開発/テストなども追加料金なしで実施できます。

Azureネイティブのバックアップと復元

Microsoft Azureは、最新アプリケーションのアジャイルかつスケーラブルな構築、テスト、導入を可能にするクラウドコンピューティングプラットフォームです。このインフラストラクチャに対してはMicrosoftが責任を持ちますが、そこにあるデータの保護についてはユーザー側の責任であることが、Microsoftの責任共有モデルで示されています。Veeamの「APIファースト」のアプローチ、イミュータブルバックアップ、完全なリストア/ファイルレベルのリストアなら、Azure内のデータを保護するだけでなくコストも最適化されるため、大幅な節約が可能になります。

Azureネイティブ

Azure VM、SQL、ファイル、Cosmos DB、仮想ネットワークのネイティブなスナップショットとバックアップを提供します。

完全自動化

完全にカスタマイズ可能なポリシーにより、スナップショット、バックアップ、データのライフサイクル管理を簡単に自動化できます。

Azure PaaSの保護

柔軟性の高いポリシーベースの自動化により、Azure SQLデータベースとAzureファイル共有を簡単にバックアップして復元します。

迅速な復元

インスタンスレベル、ボリュームレベル、ファイルレベルの柔軟な復元オプションにより、あらゆるタイプのデータ消失もすぐに解決できます。

バックアップコストの計算ツール

業界初のコスト計算ツールにより、クラウドにかかるコストの超過を防ぎつつ、サービスレベル目標 (SLO) も達成できます。



Azure Blobへのバックアップ

Azure Blobストレージへの自動データバックアップにより、コストがかかりがちなスナップショットの保持を回避します。

Azure Archive Storage

Azure Archive Storageにデータを維持し、投資対効果の高い長期間の保持とコンプライアンス遵守を可能にします。

マルチサブスクリプションのサポート

Azureサブスクリプション全体における全ワークロードの保護を簡単に拡張して管理できます。

サブスクリプション間、リージョン間のバックアップ

本番環境からバックアップを分離して、ランサムウェアやサイバー脅威から保護します。

暗号化されたイミュータブルストレージ

イミュータブルストレージを活用してAzure Key Vaultでバックアップを暗号化し、データを脅威から保護します。

管理の一元化

Azure/バックアップを、他のクラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetesなどの環境とともに単一のプラットフォームで一元管理します。

データポータビリティ

サポートされた環境間でのデータ移動も簡単なので、DRやリフト&シフト、開発/テストなども追加料金なしで実施できます。

Googleネイティブの バックアップ、復元、DR

Google Cloudでは、最先端のアプリケーションを容易に作成、導入、実行できるプラットフォームが提供されます。ただし、Googleの責任共有メトリクスで規定されているとおり、プラットフォームを提供しているのはGoogleであっても、そこにあるデータの保護と安全はユーザー側の責任になります。Veeam Backup for Google CloudではGoogleネイティブの完全自動型のバックアップと復元が提供されるため、Google Cloudに保管されている全ての自社データを容易に保護して管理できます。ネイティブのスナップショット、オブジェクトストレージクラスへのバックアップ、柔軟な復元オプションを活用して、月々の料金を抑えながら、規模を問わず、全てのデータについてデータ消失のリスクを排除することが可能です。

Googleネイティブ

Compute Engine VM、Cloud SQL、Spanner向けのネイティブのスナップショット機能とバックアップ。

完全自動化

ポリシーベースの自動化とラベルによって全てのデータを保護し、手動のプロセスを排除します。

迅速な復元

インスタンスレベル、ボリュームレベル、ファイルレベルといった柔軟な復元オプションを通じてデータ消失を解決します。

バックアップコストの計算ツール

支出を予測する業界初のコスト計算ツールにより、クラウドにかかるコストの超過を防ぎつつ、SLOも達成できます。

高速復元

インスタンス全体からボリューム、データベース、ファイルシステム、個々のファイルに至るまで、迅速な復元を可能にします。



オブジェクトストレージへのデータのバックアップ

Google Cloudオブジェクトストレージへの自動データバックアップにより、コストがかかりがちなスナップショットの保持を回避します。

自動アーカイブ

Archive Storageにデータを維持し、低コストで長期間の保持とコンプライアンス遵守を可能にします。

プロジェクト間、リージョン間のバックアップ

本番環境からバックアップを分離して、ランサムウェアやサイバー脅威から保護します。

暗号化

GoogleクラウドKMSによるバックアップの暗号化と手軽なアクセス制御で、社内外の脅威からバックアップデータを保護します。

管理の一元化

Google Cloudバックアップを、他のクラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetesなどの環境とともに単一のプラットフォームで一元管理します。

データポータビリティ

サポートされた環境間でのデータ移動も簡単なもので、DRやリフト&シフト、開発/テストなども追加料金なしで実施できます。

クラウド モビリティ

クラウドモビリティ (Cloud Mobility) とはVeeamの一製品ではなく、弊社のDNAに組み込まれた、Veeamのプラットフォーム全体にわたる機能を指します。Veeamのクラウドモビリティにより、データをお好きなプラットフォーム (複数可) にいつでも移動できるという「データの自由」が実現します。この比類のない柔軟性により、ユーザーはVeeamからの追加料金なしにデータの制御とオーナーシップを確保できます。

クラウドへ

Veeamで保護されたあらゆるワークロードを、AWS、Azure、Google Cloudといった主要なハイパースケールプラットフォームに復元、移行、バックアップできます。

クラウド間

クラウドプロバイダーから別のクラウドプロバイダーへのバックアップ、復元、移行など、AWS、Azure、Google Cloudのデータをプラットフォーム間で移動可能にします。

クラウドから

クラウドにある開発および本番のワークロードを、オンプレミスインフラストラクチャに復元、移行、バックアップします。

ロックインの排除

自社データに対する制御を確保し、サポートされる任意のプラットフォーム (クラウドまたはオンプレミス) にデータをいつでも移動することができます。

ユニバーサルライセンス

データとともにVeeam Data Platform全体で移行できるポータブルライセンスにより、冗長なライセンスを排除してライセンス管理の手間を省きます。

自己記述型

ポータブルなバックアップファイル形式によってあらゆるインフラストラクチャ間で移動可能なため、Veeamのソリューションを使用しない場合でも常に無料でアクセスできます。

Microsoft 365のバックアップと復元

Microsoftは、Microsoft 365でパワフルなサービスを幅広く提供していますが、Microsoft 365データの包括的なバックアップは含まれていません。Microsoft 365を利用する場合、そのデータはお客様ご自身のものであり、お客様の責任のもとで保護しなくてはなりません。

Veeam Backup for Microsoft 365なら、Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive for Business、Microsoft TeamsなどのMicrosoft 365データに対してアクセスや管理ができなくなるリスクが解消され、データは常に利用可能な状態で保護されます。また、Veeamでは、Microsoft 365データ保護のためのバックアップソフトウェアに加えて、Veeam Data Cloud for Microsoft 365によるバックアップサービスオプションと、Veeam Cloud & Service Provider (VCSP) パートナーによるマネージドサービスオプションも提供しています。

50種類のMicrosoft 365復元オプション

個々のアイテムのきめ細かな復元でも、複数のユーザーの一括復元でも、ほんの3回のクリックであらゆる復元を実行できます。

独自のストレージを利用可能

オンプレミスでもクラウドオブジェクトでも、Amazon S3、Azure Blob、IBM Cloud、S3互換ストレージといったあらゆるストレージに接続できます。

自由に選択できるインフラストラクチャ

バックアップストレージをいつでも変更できる柔軟性が備わっているため、ペナルティやベンダーロックインを回避できます。



イミュータブルなバックアップコピー

イミュータビリティが有効なプライマリバックアップから、物理的に分離できるセカンダリバックアップコピーを作成し、「3-2-1-0ルール」を遵守します。

エンタープライズ保護のために組み込まれたスケーラビリティ

Veeam Backup for Microsoft 365のアーキテクチャは、市場最大規模のエンタープライズへの導入にも対応できます。

Microsoft 365データにおける最短のRPOを実現

業界最短のRPO (5分未満) を達成し、オブジェクトごとに異なるRPOを作成できます。

組み込みのセキュリティ機能

イミュータブルなバックアップコピー、マルチファクター認証、オブジェクトストレージに保存されているMicrosoft 365データの暗号化といった機能を利用できます。

高度な監視とレポート作成

Microsoft 365のバックアップやストレージのリソースを監視できるほか、アラートを受信して問題に対処したり、レポートを活用したりして、RPOを確実に達成することができます。

Microsoft 365バックアップのハイブリッドサポート

Microsoft 365と、オンプレミスのExchangeおよびSharePointのハイブリッド環境をサポートして、データ保護を合理化します。

Salesforceのバックアップと復元

多くの組織がSalesforceを保護する必要はなく、自社のデータとメタデータはどこかのクラウドにあれば安全であると考えていますが、当然ながらVeeamではそう思っておらず、Salesforceも同様です。

Veeam Backup for Salesforceでは、人的エラーや統合の問題をはじめとしたSalesforceのデータ消失シナリオに起因する、データとメタデータの消失リスクを排除します。Veeamでは、Salesforce専用の包括的なバックアップソリューションを通じて、お客様が自信を持って迅速にデータ消失から復元できるように支援します。

Salesforceネイティブ

Salesforceのデータとメタデータをリストアしてバックアップできるよう専用に設計されています。

Salesforceビジネスアプリケーション

Salesforceプラットフォームのサポートを拡大し、Salesforce Government Cloud、Education Cloud、Field Service、CPQ、Person Accounts、マネージド型パッケージなどにも対応しています。

高速かつ柔軟な復元

Salesforceのレコード、階層、フィールド、ファイル、さらにメタデータも迅速に復元します。

サンドボックスシーディング

本番または別のサンドボックスのデータでサンドボックスにリストアします。

データの安全を確保

データのオーナーシップを確保し、オンプレミス、AWS、Azure、Google Cloudなどのあらゆる環境でバックアップを実行できます。



Salesforce SSOとMFA

Salesforceを使用してバックアップオペレーターやリストアオペレーターにロールベースのアクセス権を付与することで、オペレーションのセキュリティを簡素化するとともに強化します。

カスタムスケジューリング

オブジェクトレベルで詳細なバックアップスケジュールや保持設定を行うことができます。

管理の簡素化

Salesforceを利用している複数の組織のバックアップポリシーを1つのコンソールで管理できます。

増分変更

増分同期と柔軟なスケジューリングで、Salesforceデータをほぼ連続的にバックアップできます。

シンプルで使いやすいUI

何度かクリックするだけで操作は完了です。バックアップポリシーやリストアジョブの実行も瞬時に完了します。

階層のリストア

あらゆるレコードに紐付けられている子オブジェクトもきめ細かくリストアできます。親レコードももちろんリストアできます。

確認と比較

レコードやメタデータのバージョンを確認して、本番環境と素早く比較できます。

Kubernetesの バックアップ

クラウドネイティブの時代においてKubernetesの導入が加速し続ける中、多くの組織がKubernetesアプリケーションの保護に対処する必要に迫られています。ビジネスの継続性を維持するには、データサービスだけでなくアプリケーション全体の堅牢な保護と復元に対処して、アベイラビリティを損なうような設定ミス、サービス停止、セキュリティの脅威を解消する必要があります。

世界最大規模の多くの組織から信頼されているVeeam Kastenは、Kubernetesネイティブのセキュアなデータ保護とアプリケーションモビリティを、広範囲にわたるディストリビューションやプラットフォームで大規模に提供するソリューションです。アプリケーション全体を迅速かつ確実に復元できることが実証されているKastenにより、その基本理念であるシンプルさも相まって、運用チームやアプリチームは不測の事態にも自信を持って対応できるようになります。

アプリケーション中心

整合性のあるアプリケーションからインフラストラクチャまでのビューを使用して、アプリケーションスタック全体をキャプチャします。

ポリグロットパーシステンス

複数のデータサービスを同時に使用するクラウドネイティブのアプリケーションをサポートします。

最先端の重複排除

クラウドネイティブのアプリケーションデータへのアクセスに向けて調整されたソース側重複排除機能を活用できます。

ランサムウェア対策

イミュータビリティとポリシーベースの自動化により、悪意のある、または意図せぬバックアップの破損から保護します。



ロールベースのアクセス制御

ユーザーのタイプ（管理者、ユーザーなど）に応じて、適切な権限レベルが付与されるようにします。

暗号化

送信中/転送後のアプリケーションと設定データ、さらに関連するメタデータアーティファクトを包括的に暗号化（エンド・ツー・エンド暗号化）します。

拡張性

オープンソースのKubernetesフレームワークからのブループリントを使用して、新しいアプリケーションまたはカスタムアプリケーションに対するサポートを強化できます。

シンプルなインストールと自動アプリケーション検出

単一のHelmコマンド、またはクラウドマーケットプロバイダーのマーケットプレイスを通じてアプリケーションをインストールします。

高度な管理インターフェイス

全てのKasten管理アクションに関する監視、管理、アラートを統合します。

データサービス

主要なアプリケーションとデータソース（Cassandra、MongoDB、Kafkaなど）を全てサポートします。

ディストリビューション

広範なKubernetesディストリビューション（OpenShift、Rancherなど）とクラウドベンダー（AWS、Azure、Googleなど）をサポートします。

ストレージ

クラウドストレージ（AWS、Azure、Googleなど）とオンプレミスストレージ（EMC、NetAppなど）をサポートします。

クラウドの バックアップと アーカイブ

多くの組織が、クラウドベースのストレージをバックアップ先および長期ストレージとみなしています。オンプレミスインフラストラクチャの調達、管理、維持が不要で、さらに準備がほぼ瞬時に完了すること、ほぼ無限の拡張性、アベイラビリティの高いクラウドストレージにより、データ保護には最適な場所と言えます。Veeam Data Platformは主要ハイパースケーラーのクラウドストレージとシームレスに統合し、複数のオブジェクトストレージクラス間でターゲットを決定して、バックアップを自動的に階層化することができます。これにより、組織はより迅速な復元を実現する高いパフォーマンスから、投資対効果の高い長期保持用アーカイブストレージまで、自社のさまざまなニーズに合わせて調整可能なクラウドストレージを効果的に活用できます。

複数のプロバイダー

AWS、Azure、Google Cloudなどの主要ハイパースケールプラットフォーム、さらにS3互換のプロバイダーや、リージョナルクラウドサービスプロバイダーを利用できます。

クラウドスケール

弾力性のある、クラウドベースのオブジェクトストレージの、無限のようにも見えるキャパシティ、スケール、投資対効果を簡単に利用できます。

インテリジェントかつ自動

ポリシーベースの自動化層により、オンプレミス、さらにクラウドベースのオブジェクトストレージクラス全体でデータを保護します。

長期保持

アーカイブクラスのオブジェクトストレージにおける投資対効果の高い長期データ保持を、月々GBごとのわずかなコストで利用できます。

コンプライアンス

保持、削除、およびデータの主権性に関連するコンプライアンス要件を容易に満たし、遵守状況を証明することができます。

ディザスタ リカバリ (DR)、 移行、最新化

災害の発生数が増加し、その形態や規模も多様化する中で、包括的なDR戦略は組織の可用性と回復性を確保するうえで非常に重要な要素です。しかし、セカンダリサイトとインフラストラクチャの調達、管理、維持は複雑でコストもかかります。Veeam Data Platformをご利用になることで、DRだけではなく、オンプレミスのワークロード、開発/テストなどの移行と最新化にも、クラウドのパフォーマンス、スケール、投資対効果を活用できるようになります。

Direct Restore

Veeamによるクラウド、仮想、または物理ワークロードのバックアップを、ウィザード主導の2段階のステップでAWS、Azure、Google Cloudに復元します。

VMcloud

AWS、Azure VMwareソリューション、およびGoogle Cloud VMwareエンジンで、VMware Cloudのバックアップ、リストア、レプリケーションを実行します。

移行と最新化

既存のオンプレミスアプリケーションおよびデータを、AWS、Azure、およびGoogle Cloud上の、クラウドでホストされているIaaS (Infrastructure as a Service) に簡単に移行できます。

開発/テスト

バックアップに保存されている本番環境の最新データを、開発/テスト、トラブルシューティングなど向けに一時的にクラウド上でインスタンス化することで、そのデータの価値をさらに高めます。

DRaaS

手頃なコストの効率的なレプリケーションにより、世界中のDRaaS (Disaster Recovery as a Service) プロバイダーを通じた全てのアプリケーションに対するイメージベースのDRが提供されます。

ランサムウェア 対策

昨年は、85%の組織が少なくとも1回はランサムウェア攻撃を受けています。今や、ランサムウェア攻撃を「もし受けたら」ではなく、「いつ受けるのか」ということが問題です。Veeamのソリューションでビジネスを保護することで、サイバー攻撃や人的エラー、その他のデータ消失のシナリオといった場面でもビジネスの継続性を確保できる、根源的な回復力を得ることができます。Veeamでは、安全なバックアップは、ランサムウェア攻撃に対抗する企業の最終防衛線であると考えています。弊社のソフトウェアは安全性を重視した設計となっており、クラウドのセキュリティ機能を容易に活用できるため、信頼性の高いバックアップを維持することで、ダウンタイムやデータ消失、さらには高額な身代金の支払いを回避することができます。

イミュータブルバックアップ

オンプレミスとクラウドの両方に存在するイミュータブルなWORM機能を活用できます。

段階的でセキュアなデータリストア

復元後のVMIに個人データや機密データを混入させずに、コンプライアンス基準を遵守できます

ランサムウェアのワークロードテスト

分離された仮想サンドボックス内でデータをリストアしてマルウェアをスキャンします。本番システムには影響を及ぼしません。

信頼性の高いリカバリオーケストレーション

復元計画のテストを動的に更新および自動化し、手動で操作しなくても迅速にデータを復元できます。



データ統合API

本番環境のパフォーマンスに影響を及ぼさずにサードパーティと統合します。

インスタントVMリカバリとデータベースの復元

圧縮済み、重複排除済みのバックアップファイルからVMやデータベースを実行して、本番環境にリストアします。

アイテムレベルの復元

Microsoftアプリケーション向けのVeeam Explorersでは、アプリケーションを認識したバックアップからアイテムレベルの復元を実行できます。

PII保護

PIIを含むインフラストラクチャソースにタグを付け、ダッシュボードと監査でモニターします。

ワークロードの検出

新しいワークロードやアプリケーションを自動的に検出し、バックアップを成功させるための最良のプロセスを決定します。

リアルタイムの監視とアラート

340以上の事前設定されたアラームと150以上の事前構築済みレポートとヒートマップにより、可視性を維持して問題を軽減します。

ストレージの柔軟性

30以上のオブジェクトストレージ（そのうち15はイミュータブルストレージ）を含む80以上の認定済みストレージオプションから選択でき、「3-2-1-1-0ルール」にも簡単に従うことができます。

まとめ

Veeamは、ハイブリッドクラウド環境とマルチクラウド環境において必要とされる回復力の提供を通じてお客様を支援する、業界をリードする優れたソリューションを提供しています。既存のインフラストラクチャを保護し、移行と最新化を通じて将来に向けて保護を強化しつつ、全体なコスト効率と運用効率の向上を促進します。

Veeam Softwareについて

データ保護およびランサムウェアからの復旧におけるNo.1のグローバル市場リーダーであるVeeam®は、あらゆる組織がデータの停止や消失から復旧して元の状態に戻るだけでなく、さらに前進できるようサポートすることを使命としています。Veeam製品を利用することで、組織はハイブリッドクラウドのデータセキュリティ、データの復元、データの自由を通じて、根源的な回復力を実現できます。Veeam Data Platformは単一のソリューションを通じて、クラウド、仮想、物理、SaaS、Kubernetesといった環境に対応しています。ITリーダーやセキュリティリーダーは、アプリケーションやデータが保護され常に利用できる状態であるという安心感が得られます。米国ワシントン州シアトルに本社を置き、30ヶ国以上に事業拠点を構えるVeeamは、世界中で45万社を超えるお客様を保護しています。お客様の中にはGlobal 2000の74%の企業も含まれており、事業継続性の維持にVeeamをご利用いただいています。根本的な回復力はVeeamから。詳細については、www.veeam.com/jpをご覧ください。LinkedIn (@veeam-software) およびX (@veeam_japan) でVeeamをフォローしてください。

さらに、Veeamでは、ハイブリッドクラウド環境/マルチクラウド環境における回復力を高める以下の3つのオプションを提供しています。

バックアップソフトウェア

Veeam Data Platform

バックアップ戦略のアーキテクチャと導入を完全に制御します。

バックアップサービス

Veeam Data Platform

「as a Service」モデルの利便性とベストプラクティスとともに、クラス最高のソフトウェアの能力を活用します。

マネージドサービス

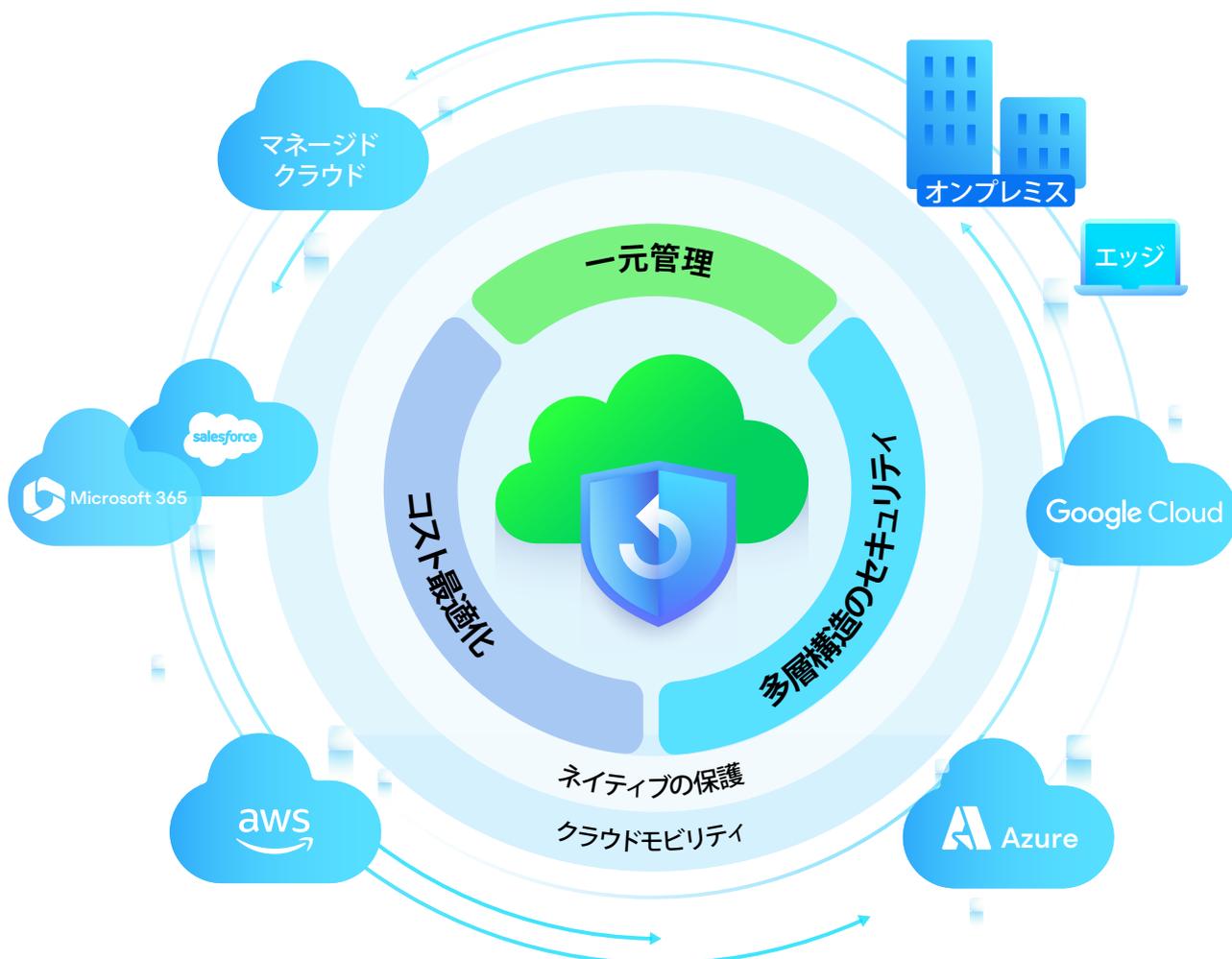
サービスプロバイダー

バックアップサービスをVeeamパートナーのエキスペートに任せることで、ミッションクリティカルなワークロードの価値を短期間で実現できます。

ハイブリッドクラウドの回復性を統合

混在する環境を、業界をリードする単一のプラットフォームでシームレスに保護することで、以下が可能になります。

- ✔ クラウドのコストを最適化
- ✔ ハイブリッドクラウドにもマルチクラウドにも対応
- ✔ バックアップの整合性とセキュリティを維持



- ➔ [Veeam Data Platformのハイブリッドクラウドデモをご覧ください](#)
- ➔ [Veeamハイブリッドクラウドソリューションに関する詳細はこちら](#)